

入札監視委員会定例会議 議事概要

- 1 開催日 平成30年11月7日(水)
- 2 場所 都市再生機構九州支社 第2会議室A
- 3 委員
[委員長]
井上憲男(一般財団法人顧問)
[委員](五十音順)
大枝良直(大学准教授)、半田萬(弁護士)、山口謙太郎(大学教授)
- 4 審議対象期間 平成30年4月1日～平成30年9月30日
- 5 抽出件数

	入札方式別	抽出件数
1	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約(工事)	1件
2	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、落札率が高い契約(工事)	1件
3	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一者応札・応募の契約(工事)	1件
4	指名競争入札方式(工事)	1件
5	随意契約方式(工事)	1件
6	一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約(業務等)	1件
7	落札率が高い契約(業務等)	1件
8	一者応札・応募の契約(業務等)	1件
	抽出件数(計)	8件

- 6 委員からの意見・質問それに対する回答
別紙のとおり。
- 7 委員会による意見の具申又は勧告の内容
なし。

以 上

	意見等	回答
1	<p>【平成30年度小規模修繕工事（九州支社・福1-1-①）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事量は見込みなのか？ ・想定工事量を超える工事が発生した場合の支払いはどうなるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の修繕戸数に基づいた想定工事量を入札参加者に示しています。 ・単価契約のため、実際の工事量に合わせて増減することになります。
2	<p>【平成30年度リニューアル等工事（九州支社）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再公募でも1者応札となったのは、技術力や業務規模や同業他社が少ないことによるものなのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模修繕工事の入札に参加し本工事の入札に参加しなかった業者にヒアリングを行ったところ、体制構築が取れないということと、本工事は福岡地区と北九州地区を一括りにしておりますが北九州地区を含むと参加は難しいという意見がございました。但し北九州地区の業務量が少ないことから、機構としては地区毎に工事を分割発注することも難しいと考えています。
3	<p>【御船町一丁目地区災害公営住宅建設工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初公募時はなぜ設計施工一体で発注を行ったのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計施工一体で発注を行うことによって、全体スケジュールの縮減が可能であるため、災害公営住宅事業においては積極的に活用している状況です。
4	<p>【30-アーベインルネス穴生B工区外壁修繕その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
5	<p>【30-アーベインルネス諸岡ほか7団地エレベーター安全対策改修等工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	

6	<p>【UR賃貸住宅募集等業務（UR福岡営業センターグループ）】</p> <p>・なぜ他の申請者がいなかったのか？</p>	<p>・当該業務は4年間の業務であり、仮に落札しても4年後には改めて公募することからその際に再度受注できる保証はないため、人材確保の面でリスクがあることがネックとなっていると思料しております。</p>
7	<p>【アーベイン博多駅前ファースト本広告実施業務（8月）】</p> <p>・企画競争方式による業者特定の際には金額は考慮していないのか？</p>	<p>・URが事前に提示する概算額内で業務を行っていただくことを前提として、総合的に判断し特定しております。</p>
8	<p>【嘉島町鯉浮明他1団地災害公営住宅地整備工事監督業務】</p> <p>・熊本には本件のような業務を受注可能な者はいるのか？</p> <p>・熊本の業者は手持ち業務が多いということなのか？</p>	<p>・おります。地元業者が落札している地区もございます。</p> <p>・熊本においては技術者が不足している状況にあると思われまます。</p>